

自分たちから提案 業界に新風起こす

ロジネット 川北理事長

【三重】「腹を割って話し合って、垣根を取り払ってつき合っていくきたい」と語るのは、ロジネット協同組合の川北辰実理事長。個々に独立し、個々に責任をもった有機的な連合体」を理念として、平成十三年二月に設立したばかりだ。川北理事長が三ト協でK-I-Tの

説明会を受け、興味を持ったことが始まり。「K-I-Tを利用して、付き合いの幅を広げたい」との思いから声を掛け、五社が発起人となりスタート時は十三社に。主な事業にK-I-Tや勉強会、今後は別

納プレートや軽油の購入も手掛ける予定だ。理事長が強調するのは「組合に頼ることなく、自分たちから働きかけをすること」。目指すのは「K-I-Tの有効利用。インターネット化にしても、日貨協



連からのトップダウンではなく、自分たちから提案していきたい。提案すれば、すでに組織はあるのだから浸透しやすい」と語る。

事業者同士の接点をパイプに広げていく。個人よりも組合、組合よりも連合会、全国とつながりが深まれば発言力も高まる」と意欲的だ。「まだまだ業界内では新参者」というが、五年後、十年後に向けた取り組みをスタートさせた。業界に新風を巻き起こせるか。

(三輪 功)